

阪大外国語学部× みのお市民活動センター マンスリー多文化サロン

ブラジルの社会と文化は
どのように
形成されてきたのか

2019年1月17日(木)

19時～20時30分

みのお市民活動センター

箕面市坊島 4-5-20
みのおキューズモール WEST1-2F
☎072-720-3386



<定員>

20人(申込順)

1/4(金)から受付開始

<参加費>

300円(資料・茶菓代)

ブラジルの飲み物やお菓子も
お楽しみに!

本講演では、ポルトガルによる植民から今日までの歴史を振り返り、ブラジル人を形成してきた3つの主要なエスニック集団(白人、黒人、先住民)間の関係や大陸規模の国土を有するブラジルの地勢、現代のブラジルに見られる地方的な、また社会文化的な差違を概観します。さらに、日常生活の多くの面で見られる混血の問題に焦点を当て、「混血の文化と社会」が何を意味するのか、それを明らかにするのがいかに難しいかについて考えます。

【講師】

アキチ デゼン ロジェリオ

(大阪大学言語文化研究科特任准教授)

東 明彦

(大阪大学言語文化研究科教授)

お申し込み・お問い合わせ

大阪大学外国語学部

☎ 072-730-5013 FAX 072-730-5009

主催:大阪大学外国語学部・みのお市民活動センター



2021年4月、阪大外国語学部は、箕面船場阪大前駅(新駅)付近に移転します!

本活動は、「大阪大学社会学共創クラスター」の取り組みの一つです。
<https://www.ucc.osaka-u.ac.jp>